

スパコン「富岳」操り全国3位



松本秀峰5年生プログラミング大会で

松本市の松本秀峰中等教育学校5年生(高校2年)のチームが、オンラインで開かれた高校生らのプログラミング大会「第28回スーパーコンピュータコンテスト」で3位に入賞した。スーパーコンピュータ「富岳」を利用して作るプログラムの完成度を競う大会で、初出場の3人は手応えを感じつつ「来年もこのチームで1位を目指す」と意気込んでいる。

「3人で実力高め次回に臨みたい」

チームのメンバーは西塚遥都さん(16)、服部尊さん(17)、的場岳斗さん(17)。6月の予選で本選出場の20チームに入った。本選は8月22、26日に開かれ、学校の教室から自分たちのパソコンで参加。理化学研究所計算科学研究センター(神戸市)の富岳にアクセスし、複雑な数ある文字列が互いに異なることを示すためのプログラムの正確さや速さを競った。想像以上の計算速度に驚きながら、計算手法や改良点をホワイトボードで共有し、プログラムを組み上げた。結果は1位が灘高校(同)、2位は渋谷教育学園幕張高校(千葉市)、3位はほかに東京工業大付属科学技術高校(東京都)。入賞が決まり、3人は「よっしゃ」と声を上げて喜び合ったという。服部さんは「もっと改善できたのではないかと悔しさも残る。3人で実力を高め、次回に臨みたい」と話している。

高校生のプログラミング大会で3位に入った(左から)的場さん、服部さん、西塚さん